

# 工事写真報告書

工事番号 平成 29 年度

工事名 平成タクシー 様

工事箇所 屋根・外壁・鉄骨部・その他

工事住所 北九州市 門司区 小森江

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

車両の出入りがあるかと思しますので、必要最低限の足場設置をおこない、近隣と業務の支障がなるべくないようにさせていただきます。



外観



外観



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



折半屋根

---

---

---

---

---

---

---

---



折半屋根

---

---

---

---

---

---

---

---



折半屋根

---

---

---

---

---

---

---

---



### 折半屋根

---

全体的にサビの発生が見られます。  
劣化が進むと、屋根材の腐食や雨漏れの可能性が出てきますので、屋根葺き替えやカバー工法などの前に塗装で長く持たせる事をお勧め致します。

---

---

---



### 折半屋根

---

サビの上から塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、サビ発生部は3種又は4種ケレンをおこない、塗装工程に入っていきます。

---

---

---

---



### 折半屋根

---

屋根部は3層4工程(商品によっては2層3工程)になります。  
まず浸透型防サビ材を塗布し、サビの内部まで入り込み、サビの進行を抑えます。

---

---

---

---



### 折半屋根

そして通常の工程で下塗をおこないますが、サビ止め効果はもちろん、折半屋根と上塗との密着力を高める為の防サビ下塗をおこないます。

※上塗の種類によってはこの工程を省き、低コストで施工可能な商品もあります。



### 折半屋根

そのあとは乾燥時間を確認し、各種上塗材を2回塗布していきます。



### 折半屋根

同上



### 折半屋根

---

同上

---

---

---

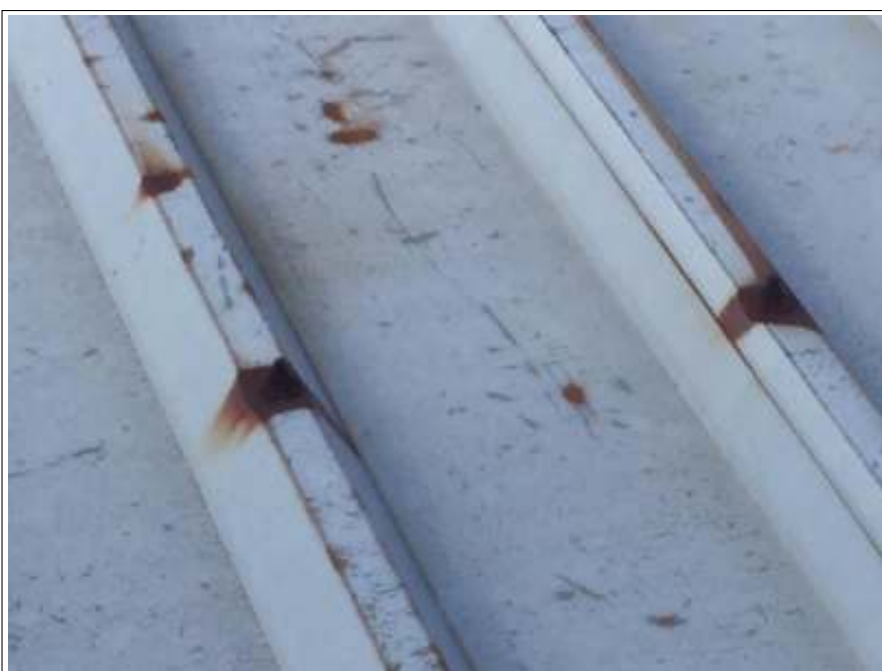
---

---

---

---

---



### フックボルト

---

フックボルト部はケレン作業と浸透型防サビ施工をおこない、シーリング入りのボルトキャップ施工をおこないません。

---

---

---

---

---

---



### 天井鉄骨部

---

屋根部と同様に3層4工程をお勧め致します。

---

---

---

---

---

---

内部になり直接雨や紫外線が当たらない部分ですので、折半屋根の塗装のように特殊な上塗はしなくても良い部分になります。

---

---

---

---

---

---



天井鉄骨部

施工中は塗料飛散の恐れがありますので、車両にカーシートをかけさせていただきます。



天井鉄骨部

施工範囲によっては車両の移動もお願いさせていただきます。



天井鉄骨部

同上



天井鉄骨部

同上



天井鉄骨部

同上



鉄骨部

こちらの鉄部も3層4工程をお勧め致します。



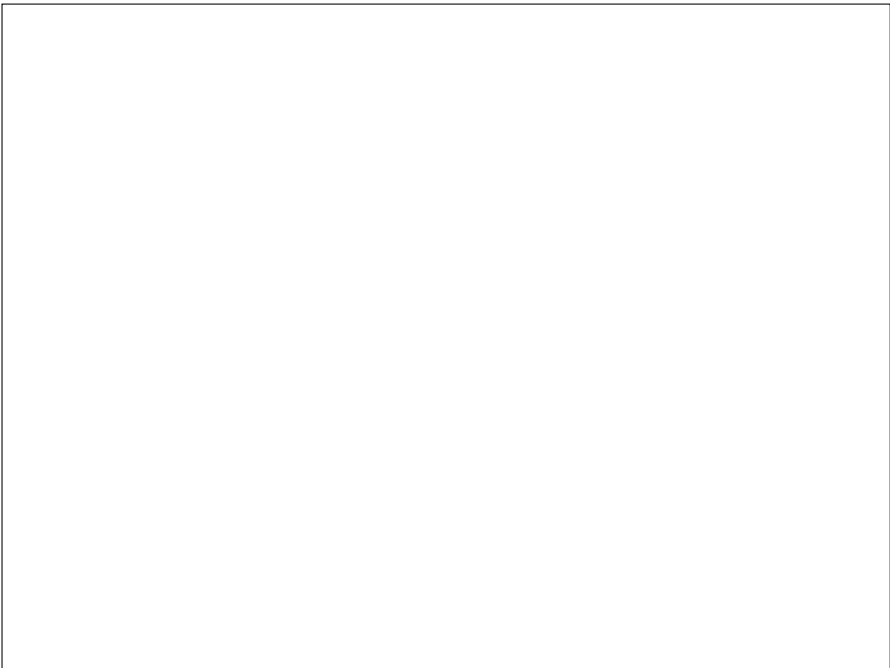
鉄骨部

同上



鉄部

同上



Series of horizontal lines for handwritten notes or observations.



水漏れ部

天井を剥がさずに調査しておりますので、100%の確認はできておりません。



水漏れ部

同上



入口 防水部

旧塗膜の劣化が見られます。  
この状態になると、表面から水を吸ってしまう状態ですので、早めの塗装をお勧め致します。



入口 防水部

---

---

---

---

---

---

---

---



入口 防水部

同上

---

---

---

---

---

---

---

---



入口 防水部

漏水の可能性を防ぐ為、立上りの塗  
装面を少し高くしての防水塗装をお  
勧め致します。

---

---

---

---

---

---



鉄骨 補修部

鉄骨部に板金カバーを部分的におこなっているところがあります。



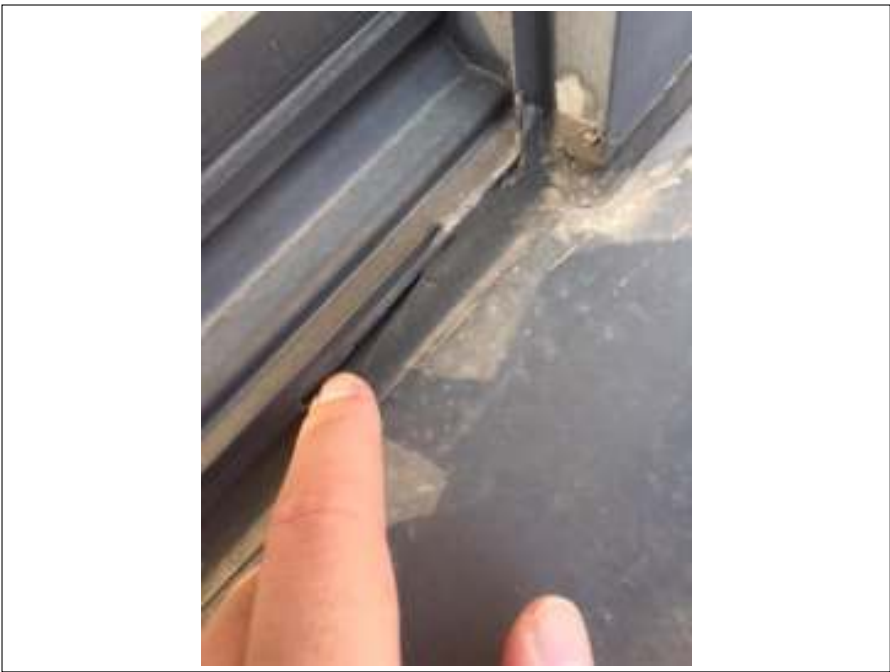
鉄骨 補修部

同上



鉄骨 補修部

同上



**鉄骨 補修部**

シーリングの劣化が見られ、また前回の補修時にプライマー施工がされていない為、シーリングの密着不良が見られます。

全体的なところもありますが、この部分からの水の浸入が一番可能性が高いです。



**入口 笠木部**

笠木の継ぎての部分の隙間から水の浸入が考えられます。

この部分はシーリング補修をおこないます。



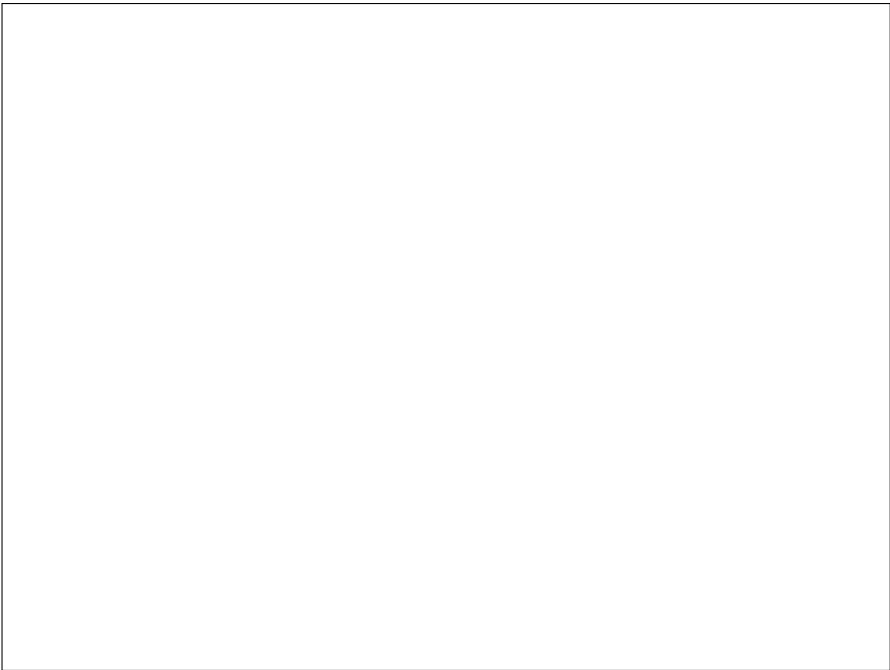
**入口 笠木部**

同上



入口 笠木部

同上



水漏れ部

散水調査はおこなっておりません。  
外部の目視調査でおこなっております。



### 水漏れ部

---

天井を剥がさずに調査しておりますので、100%の確認はできておりません。

---

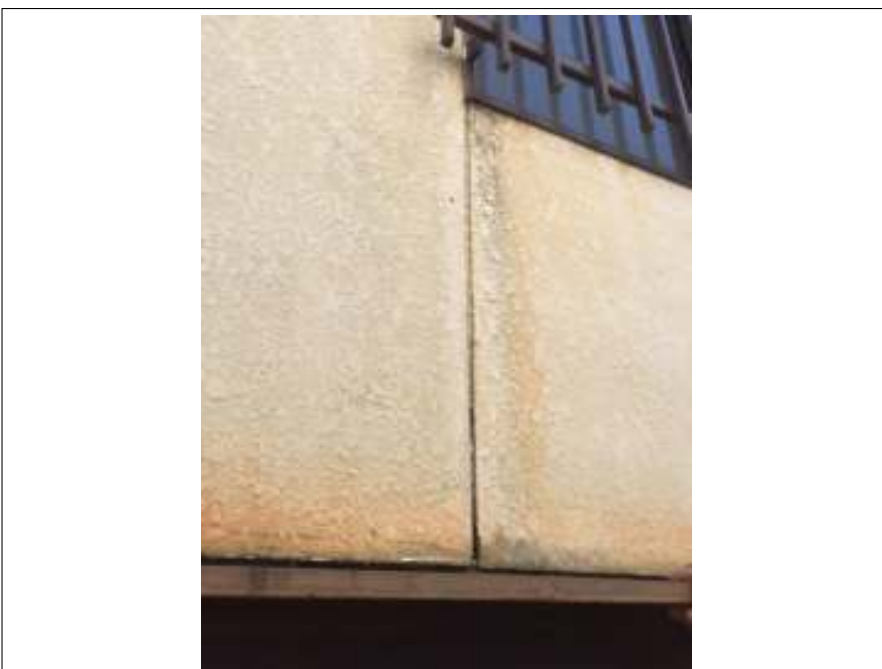
---

---

---

---

---



### 外壁 現状

---

全体的に劣化・外壁ボードの反りが見られ、繋ぎ目の部分はシーリング打ちをおこなうと外壁と躯体部の湿気の逃げ道が無くなり不具合を起す可能性があります。反りがひどいため水漏れが止まらない場合は、シーリング打ちをすることも考える必要があります。

---



### 外壁 現状

---

こちらも水漏れが止まらない場合は、シーリング打ちを考える必要があります。

---

---

---

---

---

---



外壁 シーリング劣化部

シーリングの劣化が見られます。  
サッシ廻りは全て補修が必要です。



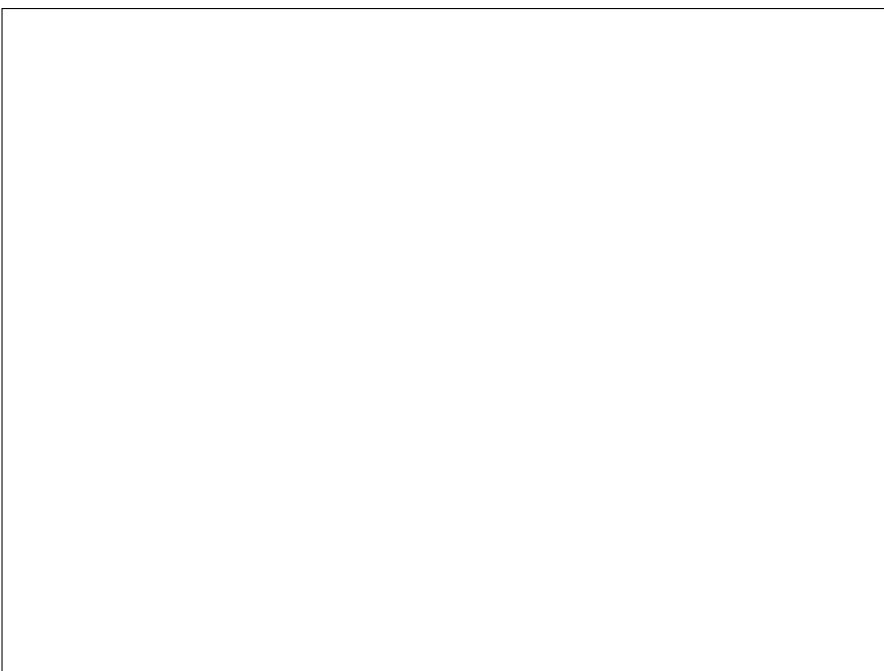
外壁 シーリング劣化部

同上



外壁 シーリング劣化部

同上



外壁 シーリング劣化部

同上

劣化部

屋根と外壁部・鉄骨と外壁部・鉄骨とサッシ部との間のコーキングの劣化が見られます。

このままだと屋根・外壁・鉄骨の劣化が水の浸入でさらに進み、改修工事の際に下地補修がかなり必要になってきます。



劣化部

シーリング部は水が浸入をしないようにする部分になり、シーリング部の劣化は建物の直接劣化につながりますので、シーリング部は全面補修が必要です。

劣化部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

